

# 令和3年度 第1回瑞穂町地域保健福祉審議会

## 会議録

日時：令和3年7月2日（金）

午後1時30分～午後2時25分

場所：瑞穂町役場4階 全員協議会室

### 会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 地域保健福祉計画の概要説明
- 5 議題  
(1) 瑞穂町第3次地域保健福祉計画の進捗状況について
- 6 その他
- 7 閉会

### 出席者【委員】

村井委員	田中委員	草壁委員	大屋委員	鈴木委員
原委員	戸田委員	石塚委員(会長)	中村委員	粕谷委員
小川委員	日野委員	播磨委員	稲見委員	石蔵委員
川鍋委員	大井委員	野口委員	福島委員	

### 欠席者【委員】

渡辺委員	五十嵐委員	横森委員	石井委員	小峰委員
------	-------	------	------	------

### 出席者【事務局】

田野福祉課長	榎本福祉推進係長	山田主任	若松障がい者支援係長
石川子育て応援課長	吉岡子育て支援係長	池田保育・幼稚園係長	島崎児童館係長
吉岡子ども家庭支援センター係長	並木高齢者福祉課長	中村高齢者支援係長	山田高齢者福祉課主査
鳥海介護支援係長	工藤健康課長	生田目健康係長	片野保健係長

### 公開・非公開の別

公開

### 傍聴者

0名

## 会議録

### 1 開会

事務局より配布資料の確認。

- (1) 次第
- (2) 瑞穂町地域保健福祉審議会委員名簿
- (3) 令和2年度第3次地域保健福祉計画進捗状況調査表

### 2 会長あいさつ

石塚会長よりあいさつ。

### 3 自己紹介

委員自己紹介。

### 4 地域保健福祉計画の概要説明

事務局より瑞穂町第4次地域保健福祉計画概要版に沿って説明。

### 5 議題

#### (1) 瑞穂町第3次地域保健福祉計画の進捗状況について

福祉課長より、令和2年度第3次地域保健福祉計画進捗状況調査表に沿って説明。

- ・交流の場づくり
- ・地域交流、世代間交流の推進
- ・地域福祉権利擁護事業に関する連携と支援
- ・成年後見制度の周知
- ・権利の擁護
- ・発達障害等支援の充実
- ・障がいのある子どもをもつ親を対象とした子育てサロンの推進

子育て応援課長より令和2年度第3次地域保健福祉計画進捗状況調査表に沿って説明。

- ・交流の場づくり
- ・待機児童の解消への取組と保育サービスの充実
- ・児童虐待の未然防止
- ・自立支援の拡充

高齢者福祉課長より令和2年度第3次地域保健福祉計画進捗状況調査表に沿って説明。

- ・地域交流、世代間交流の推進
- ・介護保険制度の適正な運営
- ・在宅医療・介護連携の推進

健康課長より令和2年度第3次地域保健福祉計画進捗状況調査表に沿って説明。

- ・子育て相談の充実
- ・児童虐待の未然防止

- ・母子保健事業の充実
- ・予防接種事業の充実
- ・身体活動・運動の実践
- ・休養・心の健康づくり

質疑 なし

村井委員より瑞穂町第3次地域保健福祉計画の進捗状況について講評。

学識経験者として、感想・意見を述べさせていただきます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で事業中止は、当然であったと思います。未知な部分も多く、様々な問題が波及して難しかったと思います。今年度は、コロナ禍がこのように実施した、という流れに変えていく時期になっています。ぜひ、事務局の説明にもありましたが、ICTの活用、これが非常に可能性を秘めております。

本日も体温チェック、手指消毒と安全対策を講じられていましたが、このような対策を一般化して普及させていくことで、「コロナ禍だからできないではなく、コロナ禍だけどこれができる」として行けば良いと思います。

最近、群馬、大阪、北海道といった全国から研修依頼をいただくことが多くなっています。その大部分が、「ICTを活用し、どのように地域で交流するか」という従前とは異なる内容の演題で研修依頼をいただいております。実際に何回か開催しております。様々なWeb会議ツールを使用し、交流を始めている自治会・町内会、それから、地区社協と呼ばれるところや、民生委員・児童委員協議会など、増えています。ただその活動が進む背景には勉強会、体験会といった研修システムの存在が必要不可欠です。これが進めば、コロナ禍が収まったとしても、ICT等、対面といった時間と場所の制約が少ない様々な参加形態による交流は、身体的な事情により会場まで来られなくなった人等の継続的な交流の参加という可能性を秘めています。

それから、多世代間交流事業（おひさまキッチン）をコロナ禍で困難な中、実現させたのは素晴らしいと思います。しかし、食事中は会話厳禁という制約による無言の会食会では楽しいのかなという悩ましい部分があるとは思いますが、素晴らしい取り組みだと思います。もう一方の狙いである栄養摂取等食事に対する支援ということで、お弁当方式といった方法もあり、様々なところで実行されています。ですから、おひさまキッチンでもおひさま弁当という形で、持ち帰った弁当の感想を後日もらう取り組みも良いのではないのでしょうか。

世代間交流は、以前から申し上げておりますが、多世代交流が大事だと私も実感しています。しかし、多世代交流の成果・効果の検証の中で、たまには同世代交流もやりたいとの意見がありました。常に多世代が素晴らしいのではなくて、同世代だったり多世代だったりというような緩急をつけた交流をしていく必要もあると思います。高齢者の人たちから、たまには自分たちだけでやりたい、という意見がありました。

大学の研究資料等を見ても多世代交流の成果は、海外の事例はありますが、日本では明確に示した事例が実はまだまだ少ないです。良いということはわかりますが、どんな効果か具体的に書かれていません。一方で健康づくり体操活動っていうのが、確実に介護保険の要介護の認定率を下げることは明らかにしているものもありますので、町の中でエビデンスを積み上げていっていただき、多世代交流がこのような成果を上げるという、PRを

皆さまにしてください。

それから権利擁護の話がありましたが、私も難しい課題だと思います。利用が進まず、どの自治体も頭をかかえているところです。そのような中でこのようにしっかりと進めていることは、大事なところです。ただ、そのためには、実施されているとは思いますが、様々な広報媒体において、権利擁護の実際の成果、事例を地域住民にフィードバックし、権利擁護についての理解、相談先の認知を得ていくことが大事です。

それから、研修会を年3回実施する予定でしたが難しく、その中で1回実施されたと報告がありましたが、これこそ最近オンラインでの研修会というのが増えてまいりましたので、ぜひともその研修をICT活用の戦略と合わせて実施を進めていくと良いと思います。健康課の報告の中で、医師会の協力により、ICTを活用した研修会の実施しがありましたので、ノウハウを共有していただければと思います。

以上でございます。全般を通して、もうコロナと戦うというよりはコロナとともに生活し、ICTを多いに活用する福祉活動をぜひ、今後も継続していただくのと同時に、先ほどお話ししたように基準を設けたうえで、少しずつ、日常に戻るということを進めていくことが大事だと思います

資料に記載のあるように「コロナで中止になりました。」で終わるのではなく、「コロナでしたが・・・、このような工夫を始めました。」というところまで言及すると、より良い内容になりますのでぜひよろしくをお願いします。

## 6 その他

事務局より今後の予定を連絡。

- ・第2回 令和4年3月29日（火） 午後1時30分から

## 7 閉会